

特定非営利活動法人中部プロボノセンター
令和5年度事業報告書
 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)


1 事業実施の概略

特定非営利活動法人中部プロボノセンターは、企業人の持つ知識・技能・経験を適切に提供することにより、名古屋市を始めとする中部地方の非営利活動団体の事業活動をいっそう向上させることを目的とし次の事業を実施した。

- (1) 定款第5条2項のプロボノパッケージプログラム事業 (第10期生)
- (2) 5条1・2項に関する事業として、大同メタル工業株式会社委託事業「大同メタルプロボノプログラム2024」受託
- (3) 5条6項の教育及び啓発に関する事業として、半田市委託事業「若者市民協働意識醸成事業」を受託
- (4) 同上項、愛知县委託事業「持続可能な社会の創り手育成事業」を受託
- (5) 5条4項の人材及び情報等の交流、連携協力に関する事業として、プロボノバンク事業「プロボノフェス2023」開催

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

(1)非営利活動団体支援パッケージプログラム事業 ・ 10期生

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費 (千円)																									
<p>社会課題の解決に向け、取り組んでいる非営利団体(NPO)の支援として、NPOを一般公募し、選定委員会にて1団体を選び、団体が希望するテーマを10期のプロボノメンバーが支援する。</p> <p>◇キックオフミーティング 選定された下記NPOとプロボノとの顔合わせ、団体のことをよくするための聞き込みを行った。アドバイザーとして先輩プロボノが参加</p> <table border="1" data-bbox="97 1104 621 1367"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th colspan="2">フットケアサークルてくてく(小牧市)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">プロボノ</td> <th>氏名</th> <th>会社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西畑 匡</td> <td>住友理工(株)</td> </tr> <tr> <td>前田 一之助</td> <td>住友理工(株)</td> </tr> <tr> <td>北川 絹子</td> <td>住友理工(株)</td> </tr> <tr> <td>田村 太吾</td> <td>住友理工(株)</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー</td> <td>和田 泰宗</td> <td>(株)デンソー</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇中間報告会 課題を絞り込み今回の支援期間でやることを再確認 ・NPOの問題を理解してキチンと課題をつかんでいるか ・課題に対して今回達成するゴールを設定しているか ・ゴールに向けてアクションプランを考えているのか (アクションプランが多い場合は優先順位を決める)</p> <p>◇最終報告会 今まで活動してきた成果と感想を発表する</p> 	団体名	フットケアサークルてくてく(小牧市)		プロボノ	氏名	会社名	西畑 匡	住友理工(株)	前田 一之助	住友理工(株)	北川 絹子	住友理工(株)	田村 太吾	住友理工(株)	アドバイザー	和田 泰宗	(株)デンソー	<p>◇団体募集:令和5年4月～5月 ◇活動期間:令和5年6月～令和5年11月 ◇選定委員会:オンライン(zoom) ・日時:令和5年6月4日(日)21:00-22:30 ・選考委員:プロボノ企画メンバー8名、事務局3名 ・応募団体数:3団体 →選定団体数:1団体 ★支援先:フットケアサークルてくてく(小牧市)</p> <p>◇キックオフミーティング *zoom有 ・日時:令和5年6月17日(土)10:00-12:00 ・場所:日本陶磁器センタービル 第3会議室 ・参加人数:8名</p> <p>◇中間報告会 ※zoom有 ・日時:令和5年9月30日(土)9:30～11:30 ・場所:日本陶磁器センタービル 第3会議室 ・参加人数:8名</p> <p>◇最終報告会(プチプロボノ研修会時) ・日時:令和6年2月10日(土)13:30-15:00 ・場所:ウイंकあいち ・参加人数:10期2名、企業3名(2企業) プロボノ経験者6名、他 事務局3名 合計33名</p> <table border="1" data-bbox="721 1570 1372 1970"> <tr> <td>チームメンバー</td> <td>4名(住友理工(株)) 前田、田村、西畑、北川</td> </tr> <tr> <td>支援先NPO</td> <td>フットケアサークルてくてく(小牧市)</td> </tr> <tr> <td>テーマ(課題)</td> <td>フットケアの重要性を知る機会をつくって、フットケアの知識を広めたい (機会が与えられないため、広まっていない)</td> </tr> <tr> <td>ゴール</td> <td>団体のイベントに参加し、イベント開催における課題を整理し、それに対する施策を提案する 課題① 情報発信力の不足 提案:ターゲットに合わせイベントのコンテンツの改善、スタッフの有効活用、SNSへの誘導を強化する 課題② 情報発信機会の確保 提案:役割を作り、皆に担っていただき、次の人・組織に広げ、協力者を質と量で増やす</td> </tr> </table>	チームメンバー	4名(住友理工(株)) 前田、田村、西畑、北川	支援先NPO	フットケアサークルてくてく(小牧市)	テーマ(課題)	フットケアの重要性を知る機会をつくって、フットケアの知識を広めたい (機会が与えられないため、広まっていない)	ゴール	団体のイベントに参加し、イベント開催における課題を整理し、それに対する施策を提案する 課題① 情報発信力の不足 提案:ターゲットに合わせイベントのコンテンツの改善、スタッフの有効活用、SNSへの誘導を強化する 課題② 情報発信機会の確保 提案:役割を作り、皆に担っていただき、次の人・組織に広げ、協力者を質と量で増やす	<p>100</p>
団体名	フットケアサークルてくてく(小牧市)																										
プロボノ	氏名	会社名																									
	西畑 匡	住友理工(株)																									
	前田 一之助	住友理工(株)																									
	北川 絹子	住友理工(株)																									
田村 太吾	住友理工(株)																										
アドバイザー	和田 泰宗	(株)デンソー																									
チームメンバー	4名(住友理工(株)) 前田、田村、西畑、北川																										
支援先NPO	フットケアサークルてくてく(小牧市)																										
テーマ(課題)	フットケアの重要性を知る機会をつくって、フットケアの知識を広めたい (機会が与えられないため、広まっていない)																										
ゴール	団体のイベントに参加し、イベント開催における課題を整理し、それに対する施策を提案する 課題① 情報発信力の不足 提案:ターゲットに合わせイベントのコンテンツの改善、スタッフの有効活用、SNSへの誘導を強化する 課題② 情報発信機会の確保 提案:役割を作り、皆に担っていただき、次の人・組織に広げ、協力者を質と量で増やす																										

(2) 大同メタルプロボノプログラム事業

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費 (千円)		
<p>◇「大同メタルプロボノプログラム2023」 地域社会の課題に取り組んでいるNPO団体を資金面での助成と、社員がプロボノとして支援の企画、運営</p> <p>① 支援先NPO募集→募集説明会：5ヶ所、オンライン（犬山市、小牧市、一宮市、各務原市、可児市） ※昨年度から対象は愛知県は名古屋市以北とし、岐阜県中濃地区を追加募集範囲とする</p> <p>② 選考委員会は社内事務局を中心に開催 応募団体は、規定のフォーマットに沿ってプレゼン 選考委員：6名 大同メタル工業(株)プロボノ推進部会 5名 中部プロボノセンター 戸成代表理事</p> <p>③ キックオフ、プロボノ&NPO合同研修 ・講師：戸成代表理事 ・研修内容：プロボノ入門 問題整理(3C分析・SWOT分析) 実践(各チームで問題整理)</p> <p>④ NPO団体支援プログラム プロボノ10名は2チームに分かれ団体を支援 団体の活動場所やネットを活用してミーティング実施</p> <p>◇ 中間報告会 進捗状況の確認とNPOから助成金活用申請、</p> <p>◇ 最終報告会開催 各チーム毎に活動結果と感想を会社幹部の前で支援結果の発表。 プロボノの所属上司はオンラインにて参加。</p> <p>【0_COLOR】</p>	<p>◇ 実施期間：令和5年6月～令和6年2月 ◇ 対象地区：愛知県尾張地区、岐阜県中濃地区</p> <p>① 募集期間：6月～7月17日 説明会参加団体数：13団体(5か所、オンライン) 募集团体数：2団体</p> <p>② 選考委員会（オンライン） 開催：7月26日(水) 9:45～11:10 ・応募団体数：8団体 ・決定団体：2団体 ・0_COLOR（犬山市） ・摂食障害よりみち（小牧市）</p> <p>③ キックオフ、プロボノ & NPO 合同研修 ・開催日時：9月20日(水)14:00-16:30 ・研修場所：犬山事業所 紀望館大会議室 ・参加人数：19名 社員プロボノ 6名、アドバイザー4名 NPO団体 2団体、4名 事務局 5名(内大同メタル工業(株)3名)</p> <p>④ NPO団体支援プログラム ・期間：令和5年9月～令和6年2月 《参加プロボノ人数》 ・0_COLORチーム：3名 テーマ：LGBTQ+について企業研修の営業戦略と情報発信 ・摂食障害よりみちチーム：3名 テーマ：ひとりでも多くの当事者が心からの笑顔で過ごせる社会づくり</p> <p>◇ 中間報告会 ・開催日時：11月28日(火)13:15～15:15 ・場所：犬山事業所紀望館大会議室 ・参加人数：18名 プロボノ6名、アドバイザー4名 NPO3名、事務局5名</p>	<p>638</p>		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="68 1301 191 1373">課題</td> <td data-bbox="191 1301 711 1373">学校や企業での基礎知識の研修・日常課題での提案 InstagramでLGBTQ+活動を世界に発信</td> </tr> </table>	課題	学校や企業での基礎知識の研修・日常課題での提案 InstagramでLGBTQ+活動を世界に発信		
課題	学校や企業での基礎知識の研修・日常課題での提案 InstagramでLGBTQ+活動を世界に発信			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="68 1373 191 1493">ゴール</td> <td data-bbox="191 1373 711 1493">・講演、研修の実施：第1歩として大同メタルで講演 第1歩として大同メタルで講演 ・情報発信：ホームページの作成または団体紹介・PV、企業向け(研修)のページ維持 管理が容易でシンプル、アットホームに</td> </tr> </table>	ゴール	・講演、研修の実施：第1歩として大同メタルで講演 第1歩として大同メタルで講演 ・情報発信：ホームページの作成または団体紹介・PV、企業向け(研修)のページ維持 管理が容易でシンプル、アットホームに	<p>◇ 最終報告会 ・開催日時：令和6年2月23日(金) 9:30～11:15 ・場所：犬山事業所紀望館大会議室 1部オンライン ・参加人数：20名 大同メタル工業(株)常務取締役：3名 プロボノ：6名、アドバイザー：3名 NPO：3名、事務局：5名 ※所属上長はオンライン参加</p>	
ゴール	・講演、研修の実施：第1歩として大同メタルで講演 第1歩として大同メタルで講演 ・情報発信：ホームページの作成または団体紹介・PV、企業向け(研修)のページ維持 管理が容易でシンプル、アットホームに			
<p>助成金の使い道</p>	<p>ホームページ差作成費用、ASTA講習受講費、PV作成費用、講演機材の購入費など</p>			
<p>【摂食障害よりみち】</p>			<p>◇ アンケートによる満足度調査（4点満点） NPO団体；4点 プロボノ；3点</p>	
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="68 1612 191 1707">課題</td> <td data-bbox="191 1612 711 1707">・参加者の声などを収集して分析する。ボランティアスタッフの教育システムがない ・広告宣伝をするためのスキルのある方に助言をもらう ・困っている方に、分かりやすく活動内容を伝える</td> </tr> </table>	課題	・参加者の声などを収集して分析する。ボランティアスタッフの教育システムがない ・広告宣伝をするためのスキルのある方に助言をもらう ・困っている方に、分かりやすく活動内容を伝える		
課題	・参加者の声などを収集して分析する。ボランティアスタッフの教育システムがない ・広告宣伝をするためのスキルのある方に助言をもらう ・困っている方に、分かりやすく活動内容を伝える			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="68 1707 191 1783">ゴール</td> <td data-bbox="191 1707 711 1783">・LINEなどを活用したアンケートの実施、各企画毎の有益なアンケート内容検討 X (旧ツイッター)の使用検討、グループ対話 (LINEなど) の設定 ・ホームページの見直し、発信方法の検討</td> </tr> </table>	ゴール	・LINEなどを活用したアンケートの実施、各企画毎の有益なアンケート内容検討 X (旧ツイッター)の使用検討、グループ対話 (LINEなど) の設定 ・ホームページの見直し、発信方法の検討		
ゴール	・LINEなどを活用したアンケートの実施、各企画毎の有益なアンケート内容検討 X (旧ツイッター)の使用検討、グループ対話 (LINEなど) の設定 ・ホームページの見直し、発信方法の検討			
<p>助成金の使い道</p>	<p>講演会講師謝礼・交通費、ウェブサイト開設費用</p>			

(3) 半田市「若者市民協働意識醸成事業」委託事業

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費 (千円)																								
<p>◇目的 次世代を担う若者世代(高校生)を対象に、市民活動の実態や活動支援の方法を理解してもらい、市民協働や社会貢献への参加につながるよう、協働意識の醸成を図ること</p> <p>◇団体募集から決定まで、半田市が実施をし、選ばれた下記3団体に対して、プレゼン研修～授業実施～まとめまでを行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半田中学校避難所運営委員会 ・半田西成岩地区地域猫の会 ・半田ストーリーテリングの会おだんごばん <p>①ファンドレイジング、プレゼンテーション全体研修</p> <table border="1" data-bbox="102 631 682 754"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ファンドレイジングとは 事例紹介、自団体の整理</td> <td>山崎 恵美子氏 (日本ファンドレイジング協会東海チャプター)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>共感するプレゼンテーション 「伝える」から「伝わる」資料づくり</td> <td>別所 大介氏 (NPO法人中部プロボノセンター)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②プレゼン個別研修 1団体ごとに、全体研修でのプレゼンテーション資料作成のレクチャーに従い、それぞれが作成した資料を基に実施。</p> <p>③「学！コラボ2023」開催 2回(1回:50分)に分けて実施</p> <p>○1回目 ・社会課題に取り組むNPOや市民協働について講義 ・参加NPOによる活動内容についてプレゼンテーション ・生徒によるグループ討議 ・各自で共感し、応援したいNPOに投票</p> <p>○2回目 ・投票結果報告(投票数、協賛金) ・協賛金贈呈(NPO3団体:目録贈呈、記念撮影) ・NPOからお礼のこたば ・協賛団体からのメッセージ ・生徒による選定理由の発表(代表) ・NPOと生徒の意見交換(投票先NPOと投票した生徒)</p> <p>④投票:共感を得た団体を選び、選んだ理由を記入 得票順位で寄付金の分配を決定</p> <table border="1" data-bbox="102 1585 705 1748"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>投票数</th> <th>協賛金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>半田西成岩地区地域猫の会</td> <td>13票</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>半田中学校避難所運営委員会</td> <td>6票</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>半田ストーリーテリングの会おだんごばん</td> <td>3票</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22票</td> <td>90,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤アンケート実施(生徒、学校、NPO) ・生徒、学校、NPOとも満足度は高く、地域で活動する団体が身近にいることを知る機会となった。 団体の活動を体験することに結びつけられた</p>		内容	講師	1	ファンドレイジングとは 事例紹介、自団体の整理	山崎 恵美子氏 (日本ファンドレイジング協会東海チャプター)	2	共感するプレゼンテーション 「伝える」から「伝わる」資料づくり	別所 大介氏 (NPO法人中部プロボノセンター)	団体名	投票数	協賛金額	半田西成岩地区地域猫の会	13票	50,000円	半田中学校避難所運営委員会	6票	30,000円	半田ストーリーテリングの会おだんごばん	3票	10,000円	合計	22票	90,000円	<p>◇実施期間:令和5年6月～令和6年2月 ◇対象高校:愛知県立半田農業高等学校</p> <p>①ファンドレイジング、プレゼンテーション全体研修 ・開催日時:8月25日(金)14:00-16:00 ・研修場所:オンライン(zoom) ・参加人数:3名(3団体)</p> <p>②プレゼン個別研修 ・開催日時:9月15日(金)14:00～17:25 ・開催場所:半田市市民交流センター ・講師;別所大介氏 (中部プロボノセンタースペシャリスト) ・参加団体:3団体 9名</p> <p>③「学！コラボ2023」開催 ・学校名:愛知県立半田農業高等学校 ・参加者:生活科学科 2年生 23名</p> <p>○1回目 日時:10月11日(水) 13:50～14:40 場所:愛知県立半田農業高等学校(多目的室)</p> <div data-bbox="735 915 996 1106"> </div> <p>【社会貢献とは】</p> <div data-bbox="1006 915 1276 1106"> </div> <p>【NPOからプレゼン】</p> <div data-bbox="743 1168 996 1348"> </div> <p>【グループ討議】</p> <div data-bbox="1011 1168 1272 1348"> </div> <p>【共感した団体に投票】</p> <p>○2回目 日時:10月18日(水) 13:50～14:40 場所:愛知県立半田商業高等学校 武道場 協賛団体:株式会社カネマタ 株式会社ジェイワークス 有限会社サカキ園芸場 協賛金:9万円</p> <div data-bbox="729 1632 982 1831"> </div> <p>【NPOと協賛企業】</p> <div data-bbox="1001 1632 1265 1831"> </div> <p>【投票先NPOと意見交換】</p>	<p>226</p>
	内容	講師																								
1	ファンドレイジングとは 事例紹介、自団体の整理	山崎 恵美子氏 (日本ファンドレイジング協会東海チャプター)																								
2	共感するプレゼンテーション 「伝える」から「伝わる」資料づくり	別所 大介氏 (NPO法人中部プロボノセンター)																								
団体名	投票数	協賛金額																								
半田西成岩地区地域猫の会	13票	50,000円																								
半田中学校避難所運営委員会	6票	30,000円																								
半田ストーリーテリングの会おだんごばん	3票	10,000円																								
合計	22票	90,000円																								

(4) 愛知県「持続可能な社会の創り手育成事業」委託事業

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費 (千円)																											
<p>◇目的 社会課題の解決に取り組むNPOに対して、SDGsの普及促進を図ることにより、NPOの活動の可能性を広げる。また、NPOと、SDGsに取り組む企業や大学等との協働を促進することで、多様な主体が社会全体で地域活動を支えていく、持続可能な社会の創り手の育成へとつなげていく。</p> <p>◇内容</p> <p>①SDGsセミナーを刈谷会場、名古屋会場にて開催 ※事前にチラシで参加者募集、当日はオンライン配信 ・「SDGsを羅針盤に社会の持続可能戦略を考える」と題し、未来から選ばれるNPOになるために、今何をすべきかを講義 ・協賛企業と学校が事例発表 ・事例発表者と参加NPOとの交流会</p> <p>②NPOアワードに参加するNPOの選考委員会 委員は事前に資料にて基準に合わせて審査し、全員の総意で応募14団体から8団体を選定</p> <p>③NPOアワードに向けてプレゼン研修を実施 ・集合研修: 選定8団体と選外の希望団体を対象にファンドレイジングの意義やプレゼンスキル、効果的な資料作成方法をオンラインにて講義 ・個別プレゼン研修: 選定8団体対象(2回/団体) 事前提出のプレゼン資料を添削し、実習指導</p> <p>④NPOアワードをSDGs AICHI EXPO 2023の中で開催 ※事前にチラシで参加者募集、当日はオンライン配信 ・選定8団体によるプレゼン発表 ・上記発表者と参加県民との意見交換 ・発表と意見交換から最も共感した団体に県民が投票 ・投票結果および審査員の審査結果にて寄附金決定 ・協賛企業、学校、令和5年度協働したNPOと大学の計3つの事例発表 ・NPOアワードの結果発表と寄附金贈呈 ・グランプリ受賞団体によるプレゼン発表</p> <table border="1" data-bbox="101 1313 644 1769"> <thead> <tr> <th>賞</th> <th>団体名</th> <th>寄附金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住友理工賞 グランプリ</td> <td>社会福祉法人せんねん村 多文化ルームKIBOU</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>住友理工賞 準グランプリ</td> <td>NPO法人みんなのひみつきち</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>審査員特別賞</td> <td>NPO法人とこっ子</td> <td>60,000円</td> </tr> <tr> <td>入賞</td> <td>NPO法人アスクネット</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>入賞</td> <td>NPO法人田舎暮らし支援センター</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>入賞</td> <td>NPO法人刈谷おもちゃ病院</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>入賞</td> <td>NPO法人ファミリーステーションRin</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>入賞</td> <td>NPO法人ゆめはーと</td> <td>40,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤NPOでの実地体験 NPOアワードグランプリ、準グランプリ受賞団体へ県民の希望者が訪問し、NPO活動を実地体験することで、社会参画・社会貢献について考える。</p> <p>⑥結果報告書の作成および送付 上記実績をとりまとめ、参加者の声も載せた結果報告書を作成し、関係各部署へ送付</p>	賞	団体名	寄附金額	住友理工賞 グランプリ	社会福祉法人せんねん村 多文化ルームKIBOU	150,000円	住友理工賞 準グランプリ	NPO法人みんなのひみつきち	90,000円	審査員特別賞	NPO法人とこっ子	60,000円	入賞	NPO法人アスクネット	40,000円	入賞	NPO法人田舎暮らし支援センター	40,000円	入賞	NPO法人刈谷おもちゃ病院	40,000円	入賞	NPO法人ファミリーステーションRin	40,000円	入賞	NPO法人ゆめはーと	40,000円	<p>◇実施期間: 令和5年6月～令和6年3月</p> <p>①SDGsセミナー 講師: 戸成 司朗代表理事 ・7月16日(刈谷会場: 中央生涯学習センター) 参加22名(会場16名、オンライン6名) ・7月29日(名古屋会場: ウィンクあいち) 参加23名(会場18名、オンライン5名)</p> <p>②選考委員会: 8月22日 選考委員: 6名 (泉川 雅子氏、新海 洋子氏、山崎 恵美子氏、協賛企業1社、愛知県、戸成 司朗代表理事) 場所: 日本陶磁器センタービル</p> <p>③プレゼン研修 講師: 戸成 司朗代表理事 ・集合研修: 9月4日(オンライン) ・個別研修: 9月22日(刈谷市中央生涯学習センター) 9月23日(あいちNPO交流プラザ) →フォロー: 9月30日、10月1日(オンライン) 集合研修参加: 8団体 (選定団体の内3団体は後日アーカイブ視聴) 個別研修参加: 8団体</p> <p>④NPOアワード 司会進行: 原田さとみ氏 審査ファシリテーター: 戸成 司朗代表理事 ・10月7日(Aichi Sky Expo 投票までの午前の部は大会議室にて開催、審査は小会議室にて実施、以降午後の部は展示ホールのメインステージで開催) AM: 参加58名(会場55名、オンライン3名) PM: 参加約60名(会場参加人数のみ把握) ・審査員: 遠藤 和重氏、古澤 礼太氏、協賛企業、愛知県、戸成 司朗氏の5名 ・協賛金: 住友理工株式会社より50万円 ・事例発表: 企業: 住友理工株式会社 学校: 名古屋国際中学校・高等学校 協働: NPO法人多文化共生サポートAdagioと愛知淑徳大学コミュニティ・コラホール・セッションセンター</p> <p>⑤実地体験 ・NPO法人みんなのひみつきち 開催日: 12月24日 参加者: 4名 活動内容: 無料塾の見学 ・社会福祉法人せんねん村多文化ルームKIBOU 開催日: 1月13日 参加者: 5名 活動内容: 寄附金購入のランドセル贈呈式への参加、日本語教室や工作教室の見学</p> <p>⑥結果報告書 表紙、裏表紙含め全30ページの冊子を500部作成</p>	<p>5,532</p>
賞	団体名	寄附金額																											
住友理工賞 グランプリ	社会福祉法人せんねん村 多文化ルームKIBOU	150,000円																											
住友理工賞 準グランプリ	NPO法人みんなのひみつきち	90,000円																											
審査員特別賞	NPO法人とこっ子	60,000円																											
入賞	NPO法人アスクネット	40,000円																											
入賞	NPO法人田舎暮らし支援センター	40,000円																											
入賞	NPO法人刈谷おもちゃ病院	40,000円																											
入賞	NPO法人ファミリーステーションRin	40,000円																											
入賞	NPO法人ゆめはーと	40,000円																											



(5) プロボノバンク事業 ・プロボノフェス開催

具体的な事業内容										実施時期・場所・人数	事業費 (千円)																				
①第7回プロボノフェス開催 ◇講演会 講師:加藤 裕治 氏 (ラヴィエ法律事務所 弁護士) 演題:企業人から弁護士への転進 〈自身の転機と、地域課題解決に取り組むNPO、 企業人へのメッセージ〉  ◇交流会 「プロボノ活動を経験したNPOのその後」発表とワークショップ ②プロボノバンク登録者数 (41名)* 下表参照										①プロボノフェス ◇開催日時:令和5年6月3日(土) 13:30~15:00 講演会 15:00~16:30 発表とワークショップ ◇場所:ウインクあいち 1201会議室 ◇参加人数:33名 ・NPO: 7名、プロボノ:18名 ・企業、講師、一般応募、事務局他:8名 ◇満足度:講演会・・・4.2点/5点、交流会・・・4.2点	123																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>コーディネーター</th> <th>業務改善</th> <th>事業企画・戦略</th> <th>組織拡大・広報</th> <th>法務・契約</th> <th>行政対応</th> <th>情報システム</th> <th>マーケティング</th> <th>会計</th> <th>経理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29</td> <td>40</td> <td>24</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										コーディネーター	業務改善	事業企画・戦略	組織拡大・広報	法務・契約	行政対応	情報システム	マーケティング	会計	経理	29	40	24	11	1	5	3	16	8		②プロボノバンク 10期生 2名登録	
コーディネーター	業務改善	事業企画・戦略	組織拡大・広報	法務・契約	行政対応	情報システム	マーケティング	会計	経理																						
29	40	24	11	1	5	3	16	8																							

3 会議の開催に関する事項

(1)通常総会

①開催日時及び場所

令和5年6月21日(土)18:30~19:30 オンラインにて実施

②議題

- | | |
|--------------|---------------------|
| ア 令和4年度事業報告 | イ 令和4年度決算報告、監査報告 |
| ウ 令和5年度計画 | エ 令和5年度活動予算 |
| オ 理事、正会員について | カ その他 今後を見据えた活動について |

(2)理事会 オンラインにて実施

① 第1回

- ・日時:令和6年3月20日(水) 18:30~19:30
- ・議題:令和5年度の活動報告、令和5年度会計報告について

②第2回

- ・日時:令和6年5月31日(金) 18:30~19:30
- ・議題:令和5年度の活動報告、令和5年度会計報告
令和6年度の活動計画、令和6年度会計予算
役員改選の件

4. その他報告事項

(1)プロボノプチ研修会 *午後からは10期のNPO支援最終報告会に参加

- ・日時:令和6年2月10日(土) 10:00~12:30
- ・場所:ウインクあいち 1209会議室
- ・内容:①プロボノとは ②組織分析の手法&対話 ③企業人と社会貢献&対話
- ・講師:プロボノスペシャリスト
- ・参加人数:24名 (内一般:5名)

(2)プロボノ企画委員会開催 *日曜 21:00~オンライン

- ・企画委員:12名、事務局
- ・開催頻度:月に1回~2回 程度 *テーマ内容によって開催日を決めた
- ・議題: 10期生のNPO支援プログラムのサポートについて
中部プロボノセンターの今後の活動施策について
①プログラムの見直し ②新たなビジネスモデル ③企業へのアピール

以上